



エコ・ファーストの約束

— 環境先進企業としての地球環境保全の取り組み —

環境大臣 石原 伸晃 殿

平成26年 6月 18日

株式会社エフピコ
代表取締役社長

佐藤 守正

エフピコグループは、業界のリーディングカンパニーとして、エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」を柱にした事業活動により循環型社会の実現による持続可能な社会の構築を目指し、以下の取り組みを推進してまいります。

1. 容器包装の3Rによる循環型社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進します。

エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」を拡大進化させ、エコトレー・エコAPET（リサイクルトレー）の販売を積極的に推進してCO₂削減に貢献します。さらに環境配慮設計による業界トップクラスの環境負荷の低い容器の開発を検討すると共に、事業活動に伴う廃棄物の発生抑制および再資源化に取り組みます。

- ◆リデュース：発泡倍率・薄肉化等の技術開発及び素材転換により、販売する食品容器全体の平均重量を対象として2020年度までに2013年度に対して5%の軽量化（資源の削減）に取り組みます。
また、食品容器業界全体での状況を継続して把握し、軽量化の取り組みにおいて、常に業界をリードする高い目標への見直しも行います。
- ◆リサイクル：エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」をさらに拡大進化させると共に環境負荷低減効果（CO₂削減効果、資源抑制効果）についての見える化を進めます。
回収量拡大：食品トレー 800t/月（2020年度目標）
 ：PETボトル 5,000t/月（2020年度目標）
販売量拡大：エコトレー割合 75%（2020年度目標）
 ：エコAPET割合 75%（2020年度目標）
- ◆事業活動に伴う廃棄物の発生抑制および再資源化：
2020年度までに生産部門における産業廃棄物の最終処分率1%以内を達成し維持します。

2. 環境教育や社会貢献を積極的に推進します。

全国に展開するリサイクル工場・選別センターを開放し、消費者、教育機関、地域住民など様々なステークホルダーに対し見学ツアーや環境学習の機会を提供します。併せて、出前授業・講演・展示会等へ積極的に参加します。

- ◆消費者団体の方々とリサイクル協力体制を強固にするために、工場見学者数及び教育機関への出前授業や各種講演会、展示会等での外部講演者数について、2020年度までに23,000人/年を達成します。
- ◆年2回実施している社内での全従業員を対象とした環境教育を継続実施します。
- ◆リサイクル事業等での障がい者への雇用の機会と場の提供を継続し、自立を支援することで、社会福祉と環境保全に貢献する活動を総合・発信していきます。

3. 環境マネジメントシステム「エコバリューチェーン」の推進

バリューチェーン全体を有機的に連動させ、透明化、見える化、効率化、そして環境に配慮した施策を推進し、自社及びバリューチェーン全体でのCO₂削減を目指します。

- ◆開発部門 : サプライヤーと協働し、製品のCO₂見える化を推進。軽量化・薄肉化によりCO₂削減を行います。
- ◆生産部門 : 生産工場での省エネ機器導入、高効率化により、使用するエネルギー削減を行います。
- ◆物流部門 : 共同配送の実施、輸送効率のアップ、ドライバー教育により燃料使用量の削減を行います。
- ◆オフィス部門 : オフィスでの電気・紙・ゴミの削減を行い、従業員家庭での環境活動実践を推進します。
- ◆販売部門 : リサイクル拠点・回収量を更に増加。リサイクル製品を拡販し、CO₂削減に貢献します。

エフピコグループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、結果について環境省への報告ならびにCSRレポート等により定期的な公表を行ってまいります。



「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」で低炭素社会へ

